



## 3代目の縁<sup>え</sup>期<sup>ご</sup>の松を植樹

佐田浜沿岸の小島に生えていた松で、出会いの場所のシンボルとして名付けられた「縁期の松」を復活させようと、3月26日に佐田浜西公園で植樹式が行われました。平成28年11月の伊勢志摩国立公園指定70周年を前に、三重県造園建設業協会から贈られた樹齢約15年の木を観光関係者らが植樹しました。

また同日、鳥羽一丁目の伊良子清白の家では、同協会から贈られたモッコクが関係者らによって植樹されました。



## 戦国の水軍武将・九鬼嘉隆の肖像画を展示

市教育委員会では、常安寺（鳥羽二丁目）が所蔵する市指定文化財、初代鳥羽藩主・九鬼嘉隆（1542～1600年）の肖像画のレプリカを制作しました。

常安寺では、肖像画の劣化を防ぐため一般には公開していませんが、九鬼嘉隆の肖像画を見たいという声も多く寄せられていたことから、本物を忠実に再現したレプリカを制作し、現在、鳥羽一丁目の鳥羽歴史文化ガイドセンターで展示しています。展示期間は5月6日まで、入場は無料です。



## クラシックカーが勢ぞろい

4月17日～21日に「ラ フェスタ プリマヴェラ 2015」が開催され、17日の午後4時ごろ約50台のクラシックカーが鳥羽を通過しました。

大会には、タレントの堺正章さんも参加し、沿道から多くの声援が送られていました。また、チェックポイントの鳥羽展望台では、三世代海女の中川さん親子が選手たちを出迎えました。



## 子どもたちが交通ルールを知るために

4月21日、三重県トラック協会南勢支部から市教育委員会に交通安全啓発の下敷き130枚が寄贈されました。

同協会からの下敷きの寄贈は、平成23年から行われており、南英雄支部長は「小さい子どもを事故に合わせないため、下敷きを寄贈しています」と話してくれました。

いただいた下敷きは市教育委員会から市内の小学校1年生116人に渡されます。